

# 有根

書道研究  
有根会 本部

〒496-0812  
愛知県津島市兼平町1-92-1  
TEL-FAX 0567-69-6925  
発行 編集部



会長  
松下 英風

第四十八回有根会書展は、皆さんのお陰で盛況のうちに終える事ができました。と感謝しています。協賛企業の方々いつも御協力有難うございます。これからも宜しくお願い申し上げます。愛知県美術館が改修中となり今回は名古屋電気文化会館五階東西ギャラリーにて、新年早々一月四日搬入会場は多くの大作、作品が花を飾り見応えのある展示となりました。会期は四日間でしたが、六日間に勝るご来場者で賑わい、充実した展覧会となり嬉しく思いました。

第三十四回公募展は、ぎつしりと所狭しと陳列され勢いがあり心強く感じました。第五回記念書初め展は、菊屋さんが壁面を工夫して、素晴らしい展示となり、大勢の受賞者・親族の方たちで大盛況でした。来年は第四十九回有根会書展、そして次は五十回となります。第五十回記念展には節目となる企画をと、考えています。皆さんの意見を聞きながら進めて参りたいと思っています。最後まで参りましたが、これからも精進し、力を結集して、有根会を盛り上げて行きます。

## 郷土の芸術家展

真野 広氏 (洋画)・松下 芝堂氏 (書)

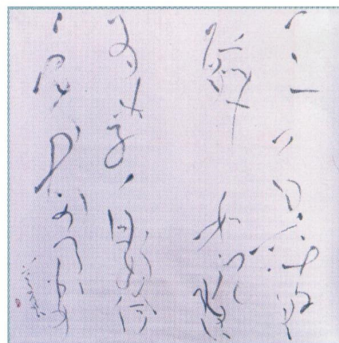
平成29年 11月2日[木] ▶ 11月5日[日]

午前10時～午後5時(5日は午後3時まで)

津島市文化会館 (小ホール)

津島市藤浪町3丁目89-10 TEL 0567-24-1122

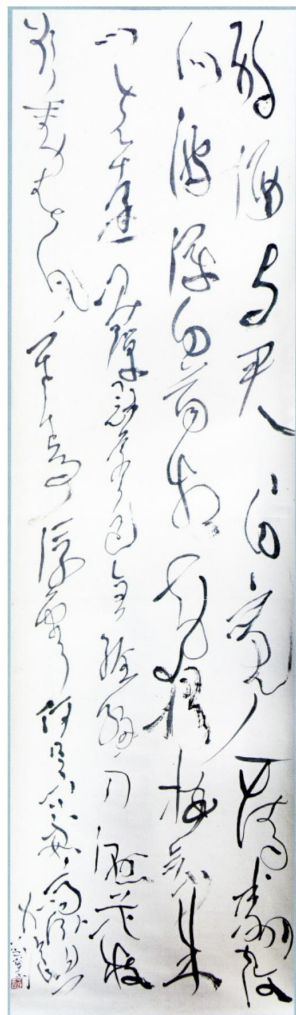
5尺×5尺  
贈内



3尺×8尺

酌酒與裴迪

夏目美沙 記



「お前の用筆法はと問われたら、解らないと答えるのがもっとも正直な言葉になるだろう。解らないから私は書を書き続けているのである。」  
これは、十一月に津島市開催『郷土の芸術家展』での芝堂先生の言で、私の心につんと響いてきました。ご健在の頃から激励された言葉が「書いて書いて書きまくれ！」だったからです。会場は「芝堂の世界」でした。大勢の市民の方や全国各地からの皆様が懐かしそうにご覧になっていました。  
先生は、命の限り自分の用筆法を求め続けて止まなかったのでは？今更ながら先生の書への執着心の凄さに圧倒させられました。それでいて芸術性の高さは最上級！他には誰にも真似できない独自の書の世界が完成されています。もつとお話が聞きたいと心底思いました。芝堂先生のお言葉は、英風先生とも重なり、現在ご指導賜っている私は幸せ者と感謝しつつ、愚直に書と向き合おうと思っています。

有根会役員

常任顧問  
会長  
副会長

常任理事  
副理事長

常任理事

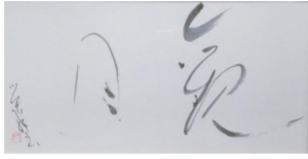
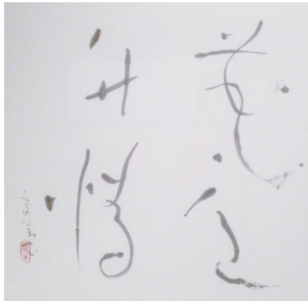
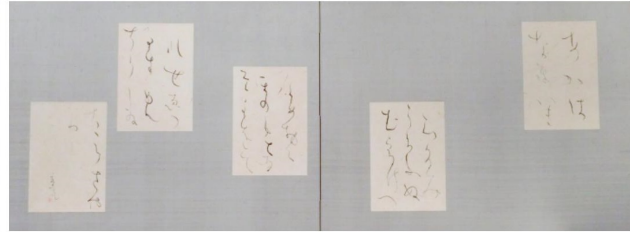
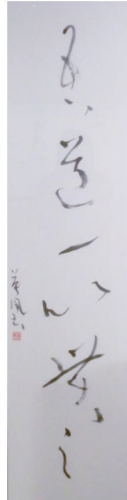
監事

参与

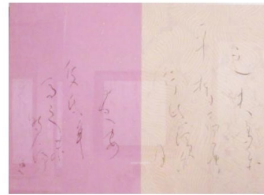
三神 榮軒  
龜山 富美  
松藤 英風  
加藤 矢舟  
古川 昇史  
古川 芳泉  
天見 明曠  
龜畑 恵子  
永谷 翠眉  
本間 翠眉  
秋田 落合玉泉  
黒野 庄田翠苑  
杉浦 畑 裕子  
林 日景洋子  
藤井 藤村真徳  
堀田 松下三雪  
岡田 中尾芝菜  
阿知 伊藤芝山  
大岡 大野昭子  
奥村 粕谷芳翠  
加藤 川松杷泉  
加藤 小林雅子  
木戸 夏目美沙  
遠山 西脇昭子  
西川 藤井秀堂  
橋口 村上雪山  
山田 渡部春泉  
加藤 渡部春泉  
(平成三十年三月現在)

## 第48回有根会書展 第34回公募展 第5回記念書初め公募展

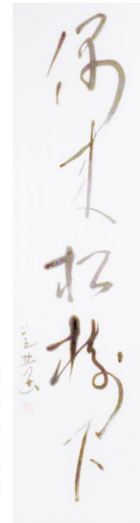
平成30年1月5日～8日 名古屋電気文化会館東西ギャラリー

常任顧問  
三神榮軒常任顧問  
亀山富美会長  
松下英風

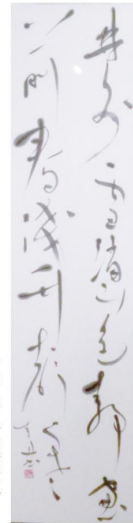
特別出品 故 松下芝堂先生



副理事長 亀畑明曠

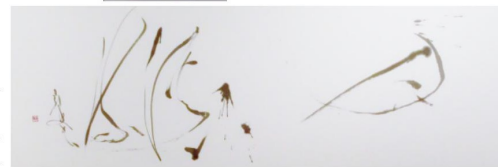


理事長 古川芝芳

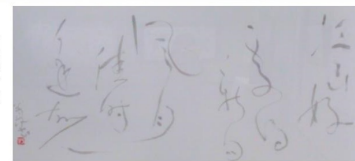


副会長 加藤矢舟

副会長 古川昇史



副理事長 天見芳泉



副理事長 本間翠眉



副理事長 永谷恵子



芝堂大賞

常任理事 秋田桃泉



## 思うがままに

常任顧問 亀山富美

平成三十年の正月は、暖かい日射しに恵まれ冷たい風ながら春の訪れを感じる幕開けが始まった。一月四日の搬入も一糸乱れぬ会員の協力と業者さんのお蔭で気持ちよく終わった。久しぶりの伏見電気文化会館での書展、五階ギャラリー東西の壁面を使って充分な広さだが予想外の出品者数と大作が多く、陳列面積がもう少し欲しい位だったが、ご来場のお客様からは明るく情熱的との好評を聞き、見応えある充実した書展を実感しました。四日間の会期ながら書関係以外に正月休みを利用しての老若男女、書初め展への来場の皆様などで、例年と変わらぬ入場者動員数で、有難い事と思っています。

## 目を引く、あわ祝詞

芝堂先生の屏風に収まったあわの祝詞は、究極の書と思う。無垢であり、一字一字のかな文字の素晴らしさ、造形、連綿、構成、自然の流れから生じた空間などは、有り余る才能を持ちながら、他の追従を許さぬ努力の結晶から生まれた芸術、見れば見る程、魂を揺さぶられます。長い時間見入っておられるお客様を何度か見かけて、思いはひとつかなあ感慨ひとしお。

## 未来への想い

書初め展ジュニア部は、菊屋さんが一手に頑張つて作り上げて下さいました。よく配慮された陳列に頭が下がります。お清の書を見に来た受賞者、親族の方達の嬉しそうな華やいだ声、喜びの雰囲気から、会員一同沢山の元気を頂きました。皆さんのお清書の線質には、芝堂芸術の

未来が託されている様に思いました。受賞おめでとう 会員、公衆

今年も力作が沢山で嬉しい限りです。偏に日頃の努力で頂けた賞です。作品はみな生き生きと動きが風を呼び爽やかです。正月の箱根駅伝で四連覇達成の青山学院大学は、一月四日喜色満面の笑顔がテレビに放映されました。五連覇に向け一月五日から猛特訓とのこと。すごいなあ、たゆまぬ努力に感服です。出品者の皆さんも、中高・老年の方が多くなつたと思います。健康が一番ですから体調と相談しながら自分なりの努力が大切かなあと、ふみのエールを贈ります。

## 楽しさいっぱい祝賀会

司会進行は落合常理、杉浦常理の息びつたりの二人で始まりました。

お元氣そうな三神常任顧問の審査講評の中で、葉も飲まずに血圧も安定との話に、自力の強さ、大切さを教えられました。松下会長は、謙虚な姿勢で受賞者全員に一人ずつ満身の愛をこめて賞を渡され、その様子から、実るほど頭の垂れる稲穂かなの句が浮かびました。乾杯は、龍園支店長の言葉で和やかに進み、居心地よい会場と美味の舌鼓で笑顔いっぱい宴になりました。

古川昇史副会長の閉会のご挨拶は、芝堂先生の名言により、流石の締め言葉でした。「天と地の間は自由な空間で平等である。その空間はすりりと後記 会長から頂いたサプライズの花束は、小さな我が家の玄関で今も生き生き咲きほこっています。すべてに感謝でいっぱいふみ





## 謝辞

この度は栄誉ある「芝堂大賞」をいただき、身に余る光栄と感激で胸がいっぱいです。これも偏に松下英風会長をはじめ諸先生方、そして師匠である亀山富美先生の心温まるご指導のおかげと厚く御礼申し上げます。

第一回有根会書展から第四十八回有根会書展まで続けて出品させて頂いた事は感慨深い物があります。数年前、大病した時もあり「これで私の人生も終わりか」とネガティブになっていた心を救ってくれたのが、書と素晴らしい師匠と書の仲間達そして家族でした。本当に書が続けていてよかったです。これからも続けられる事に感謝しつつ、健康に気を付けながら、尚一層精進して参りたいと思います。今後ともよろしく御指導くださいますようお願い申し上げます。

平成三十年一月八日  
入賞者代表 秋田桃泉

## 第四十八回有根会書展

入賞者

芝堂大賞 秋田桃泉

芝堂準大賞

粕谷芳翠 加藤翠林

川松杷泉 西川佳江

渡部春泉

中日賞

内山雅舟 大野 彩

加藤芳枝 中村智恵子

余合美花

東海テレビ賞

田中緑泉 長谷川華風

花木緑翠 本田清山

若山芝春

第三十四回公募展入賞者

有根会賞 神藤華舟

中日賞

安藤桃舟 伊藤秋月

大林靖奈 神谷芝慶

藤浪淑子

東海テレビ賞

赤井貴月 岩田純子

小川清山 白井麻美

中村映子

秀作

柄澤信一 大場早苗

梶野清風 佐佐恵水

佐々木清峰 佐々木里佳

清水華香 高須舉舟

高辻由美子 田中美雪

永田若舟 前田恵風

山田裕紀子 山本風花

柳澤孝子

渡辺矢厚 吉川佳子



## 第五回記念書初め 公募展を終えて

副理事長 本間翠眉

平成三十年一月五日(金)八日(月)まで、名古屋電気文化会館五階「東ギャラリー」にて書初め展と公募展が同室展示となりました。記念展ということでした。「記念賞」を設けると共に、今年より丸和様から優秀賞のご協力を戴く事になりました。今回、一九四三点の出品があり、東桜会館集会所に於いて、松下英風会長はじめ有根会当番審査員の先生方による厳正な審査の結果、一九五点の力強い作品を決定。展示には、菊屋商店様のご協力により二段掛けで整然と飾られました。体験コーナーでは、約七十余名の幼年から高校生までの皆様が芳名録に自分の名前を揮毫。表彰式は七日(日)五階「イベントホール」で十時三十分より大勢のご家族のもと盛大に和やかなうちに無事終了致しました。最後にありがとうございました。協賛企業様(八社)、有根会の皆様のご協力の賜と厚く御礼申し上げます。

## 読売入賞入選有根祝賀会

平成29年9月16日 龍園本店



松下英風会長先生を始め諸先生のおかげで、多くの入賞入選者を輩出。美味しい料理に舌鼓し、村上評議員の司会で和やかに進行了ました。サプライズで、幹事・評議員会から松下英風先生の還暦御祝として、ネクタイとポケットチーフのプレゼントがありました。早速身につけていただき、皆が笑顔で記念撮影、とても楽しい祝賀会となりました。

### 書展入賞者

#### ◆第三十四回読売書法展

#### 特選 加藤香雪

秀逸 大野 彩 岡田愛子

会友 奥村春翠 夏目美沙

阿知波江泉 岡島曉雲

木戸長山 遠山翔雅

富田春風 中根翠栄

古川加奈子 内山雅舟

入選 安藤聡美 倉知葉舟

壁谷由美 竹内聡美

杉本牧泉 藤井秀堂

中村智恵子 余合寿風

前野秋豊 鷺野春翠

若山芝春

◆第六十七回中日書道展

準大賞 杉浦仁美

桜花賞 川松杷泉

ホームページ随時更新中  
《書道研究 有根会》  
どうぞご覧ください

### 平成三十年度事業計画

◆四月二十九日(祝・日)

総会・作品研究会 豊川稻荷

◆平成三十一年

一月八日(火)～十四日(祝・月)

第三十九回有根会書展

第三十五回記念有根会公募展

第六回有根会書初め公募展

愛知県美術館ギャラリーEF

◆一月十三日(日)十時半

書初め公募展表彰式

アートスペース十二階A室

◆一月十四日(祝・月)

有根会書展・公募展

表彰式及び懇話会

マリオットアソシアホテル十六階

◆研修旅行

平成三十年六月十日(日)

定員四十名

原田観峰館(滋賀県東近江市)

西安碑林原寸大の碑(八基)他鑑賞

山崎ウイスキー館 見学

編集後記

第7号をお届けします。

玉稿をお寄せいただいた、先生方

にお礼申し上げます。

大門碑林公園への研修旅行が、時

ならぬ台風のため急遽中止に、係

の皆さんの迅速な対応・お手配に

頭が下がりました。

有根会会長松下英風先生が、興

文会会長と中部日本書道会副理事

長を兼務され、ご活躍お慶び申し

上げます。

会員一同も更なる発展を願い、

結束して頑張る時かと思えます。

編集委員 永谷恵子 大野昭子

加藤翠林 小林雅子